

龍源寺報

令和6年（2024年）孟蘭盆号

臨濟宗・妙心寺派	住職松原信樹	佛母寺住職松原行樹	正福寺住職松原行樹
TEL	03-3451-1853		
FAX	03-3451-6094		

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com URL: http://www.ryugenji.com

孟蘭盆会におもむ

中国・北宋末の開封地方を描いた『東京夢華録』に、「中元節の前日に棟の葉を売り出すが、お供えする時には、これを供物の上に敷きつめる。また麻殻窠児を売るが、これも供物の脚にくくりつける。それは先祖に秋の稔りを告げるという意味である」（中元節条）とあるように、孟蘭盆会いわゆる中国において中元は、正月十五日を上元、十月十五日を下元として祝うのに対し、七月十五日を中元の佳節として年間の無事を祝い、祖先を祀り秋成を告げる日として農耕生活に組み込まれ人々の生活に浸透した。

中国・六朝時代の荊楚地方（現在の湖南省、湖北省）の習俗を記した『荊楚歲時記』には、「七月十五日、僧尼道俗、悉く盆を営み諸仙に供す」（七月条）とあり、僧侶や世俗の人々によって、孟蘭盆会の法要が営まれた。中国では一般的な風習であったことがうかがえる。

孟蘭盆会は、西晋の竺法護訳『仏説孟蘭盆經』が典拠となっている。釈尊の弟子である目連が餓鬼道に墮ちた亡母を救うために釈尊に教えを請い、それに対して釈尊が救済の方法を説いた経典であり、次のようにある。「仏（釈尊）は目連に告げられた。『十方の数多くの「修行」僧たちが七月十五日の自恣の日（三ヶ月にわたる雨季の修行期間の最終日で、修行期間のことを反省しあう日）に、かならず七世（前

まで）の（生涯で自分を生んでくれた父母）、および現在の父親で（餓鬼道などの悪業に墜ちて）苦難の中にいる者のために、飯など百味・五果（果物や木の実、草の実）・汲灌盆器・香油・燈燭・牀敷・寝具・可能な限りのご馳走を準備して、孟蘭盆（の供養の会の中）に置き、十方の大きいなる徳をそなえた数多くの「修行」僧に供養しなければならぬ」と亡母の救済の方法を述べる。

日本においては、説経節『目連記』によると、悪業によって地獄に墮ちた母を救うために冥途に赴いた釈尊の弟子である目連が、賽の河原の地蔵や、三途河（ししやうず川）の姥の教えで閻魔王の住み処に行き、獄卒の案内で八大地獄に落ちていた母を見いだし、「七月十五日に、十丈に床を祓い清め、百味の飲食を供え、万灯籠を灯し、施餓鬼を行い、『法華經』を転読すれば、速やかに地獄の苦しみから逃れて成仏する」という釈尊の教えにより、目連の母は成仏し、その外、過去の精霊、七世の父母に至るまで供養され、十悪五逆の罪人達は、地獄の苦しみを免れ、一切衆生、鳥類、畜類に至るまで成仏したという内容になっており、ほぼ同じようなことを現在でも龍源寺は、七月十日の孟蘭盆会で行っている。中国の年中行事が日本に伝わり、日本の文化に影響を及ぼしたものが少なくない。孟蘭盆会もその一つであり、今後も大切に孟蘭盆会の行事を受け継いでいきたい。（松原信樹）

ご寄付

金五十万円 鵜飼富雄殿

孝子殿

金三万円 匿名殿

日月庵坐禅堂

金五千円 深津洋子殿

ありがとうございました

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。龍源寺の周囲が再開発される中、龍源寺を地域の文化資源の一つとして考え、先代から引き続き、境内整備に力を注いで参りたいと思います。ご支援いただける個人・団体・法人の皆様にあらかじめご協力を賜りたくお願い申し上げます。未熟者ですが、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

龍源寺住職 松原信樹

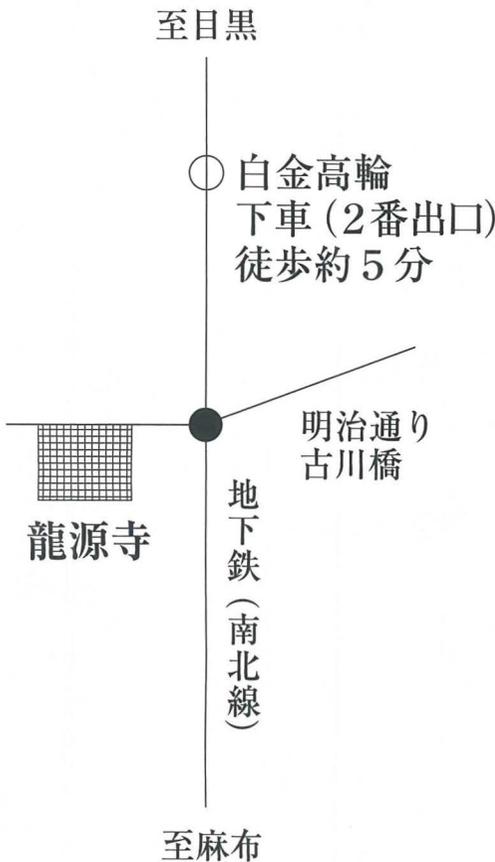
孟蘭盆会

一、七月十日（水曜日）午前十一時

一、法話

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。



「水月堂」工事の様子



※水月堂とは、江戸期に龍源寺境内に実在したお堂の名称です。



Instagram を始めました。アカウントは ryugenji.zen です。お寺の行事や工事の状況などを配信していきます。

柳 緑

孟蘭盆会を迎えます。皆さまいかがお過ごしでしょうか。納骨堂の建設も着々と進んでおります。本堂の工

花 紅

レベーター設置工事、旧書

院の改良工事、災害時用の井戸の工事等、安全で快適な環境を整えながら、檀信徒さまの葬儀・法要、行事の開催、布教活動を行ってまいりました。龍源寺開創三五〇年の後の更なる未来に向け、計画内容を見直しながら、有用な整備を続ける所存でございます。皆様におかれましては、今後とも、物心両面にわたりお支え下さいますよう、心よりお願い申し上げます。▼建築家の山本哲也さんをはじめ、英社寺建設の職人さんにより、納骨堂の建築が進められています。雨の日が多く、工事がおくれています。工事の状況など、Instagram で配信しています。宜しくお願ひ申し上げます。▼母は、特段、旅行や買物に出かけることもありませんが、おかげさまで元気に過ごしています。朝、通行人が通る前の歩道を掃除

し、ゴミ置き場の清掃などを進んで行っています。たまに転ぶこともあり、雨の日など心配ですが…。北軽井沢・日月庵坐禅堂での三十名近い研修の方々の食事を作ったりもして元気に過ごしています。先日、私は、家内も母も仕事で留守だったということもあって、生まれて始めて娘の学校のお弁当を作るということになりました。いくらなんでも、こんなことはないだろうと思っていたことでしたが、受け入れることにして、朝五時から、一時間かけて小さな娘のお弁当箱にお弁当を作りました。試行錯誤し、苦労しましたが、結果、全部残されてしまいました。やはり、お母さんの味が一番なのでしょう。残したお弁当は、全て私がいただきました。家内の亜矢さんは、声帯が炎症したため、仕事を休む日がありました。自分の仕事とお寺の仕事、娘の学校のことを両立してくれています。以前、私の知人の紹介で、偶然席を隣にした方が、港区の区長さんになったことで、彼女も女性として刺激を

受けているようです。とても、いいことだと思います。▼以前、法要後の御斎で配膳いただきながら、コロナ禍で閉店した「秀」さんが、テイクアウト料理専門で、折り詰め弁当を再開いたしました。法要後の御斎にご利用ください。03-3787-0130 (<https://hide-nakanobu.rwop.jp/>) ▼お檀家さまで、お葬式をだされる場合、病院にて、知っている葬儀社がない場合、「あおば葬祭」にお願ひ致します。0120-037-652 (<http://www.aoba-sousai.co.jp/>)。龍源寺本堂でお葬式をなされる場合の指定業者になります。丁寧なお仕事で、皆さまに、よろこんでいただいております。▼七月十日午前十一時より、孟蘭盆会の法要を行います。新盆を迎える方は、多くの僧侶に読経いただきますので、御来山いただけたら嬉しく思います。また、七月十日(水)がご都合の悪い方、十五日(月・海の日)まで施餓鬼棚の荘厳を本堂に設置していますので、お盆のお参りにおいでください。

(信樹)